

2014年 医学部 第1問

数理
石井K

1 点 $A(0, -1)$ とする。放物線 $y = x^2$ 上の点 $P(a, a^2)$ に対し、直線 AP と x 軸との共有点を $M(m, 0)$ とし、 M を P の対応点と呼ぶことにする。

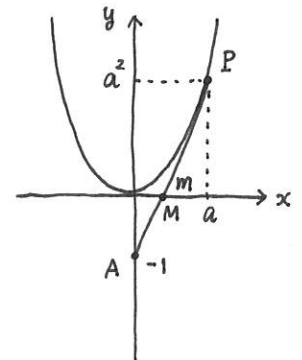
(1) m を a で表すと $m = \frac{a}{a^2+1}$ である。

(2) m の値のとり得る範囲は $-\frac{1}{2} \leq m \leq \frac{1}{2}$ である。

(3) $a \neq 0, \pm 1$ のとき、 $P(a, a^2)$ と同じ対応点をもつ P と異なる放物線 $y = x^2$ 上の点 Q が存在し、 Q の座標は $(\frac{1}{a}, \frac{1}{a^2})$ である。

(1) 直線 AP : $y = \frac{a^2+1}{a-0}x - 1$ より

$$0 = \frac{a^2+1}{a} \cdot m - 1 \quad \text{を解いて、} \quad m = \frac{a}{a^2+1} \quad "$$



(2) 図形は y 軸に対称であるから、まず $a > 0$ のときを考える

$$m = \frac{1}{a + \frac{1}{a}} \quad \text{であり、(分母)} = a + \frac{1}{a} \geq 2\sqrt{a \cdot \frac{1}{a}} = 2 \quad (\text{相加・相乗平均の関係})$$

$$\therefore 0 < m \leq \frac{1}{2}$$

また、 $a = 0$ のとき、 $m = 0$ と $a < 0$ のときと考えると、 $-\frac{1}{2} \leq m \leq \frac{1}{2}$ "

(3) $Q(b, b^2)$ とおくと、($a \neq b$)

$$\frac{a}{a^2+1} = \frac{b}{b^2+1} \quad \Leftrightarrow ab^2 + a - a^2b - b = 0$$

$$\Leftrightarrow (1-ab)(a-b) = 0$$

$$a \neq b \text{ より、} ab = 1 \text{ かつ } a \neq 0, \pm 1$$

$$\therefore a \neq 0, \pm 1 \text{ のとき、} Q \text{ は } \left(\frac{1}{a}, \frac{1}{a^2} \right) \quad "$$